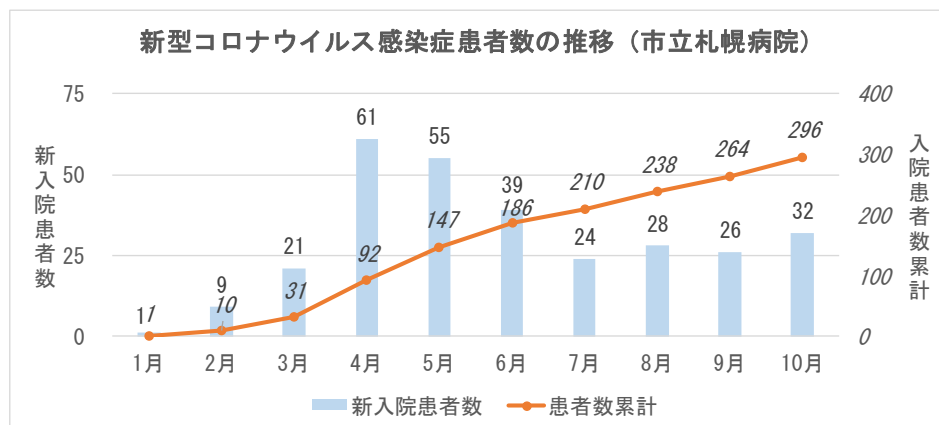


市立札幌病院における新型コロナウイルス感染症への対応について

1 新型コロナウイルス感染症患者の入院状況

当院では第一種及び第二種両方の指定を受けた感染症指定医療機関としての役割を果たすため、本年1月より新型コロナウイルス感染症における重症患者及び中等症患者の受入れを積極的に行っております。

令和2年4月～5月には50名を超える新規入院があり、10月までの入院患者累計は296名となっています。



2 令和2年度補正予算の概要

新型コロナウイルス感染症に対応するため、以下のとおり補正予算を計上してきました。

議会	補正額	内容
第2回臨時市議会	74,000 千円	医療機器の整備（人工呼吸器等）
第2回定例市議会	158,000 千円	新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者に対する特殊勤務手当の増額
第3回臨時市議会	585,000 千円	院内感染防止用診察室の整備、医療機器の整備（検査機器、ECMO等）、医療従事者等への慰労金支給
第3回定例市議会	240,000 千円	医療機器の整備（透析装置等）、診療案内表示システムの導入
計	1,057,000 千円	

3 経営への影響

令和2年度上半期（4月～9月）の医業収益は、前年同時期と比較して、約17億円減少（▲16.1%）しております。

11月に入ってから、市内での感染拡大に比例して当院の入院患者数も増加しており、当面は、新型コロナウイルス感染症患者の入院病床の確保のため、一般患者の受入れを一部抑制する必要があることから、減収が継続する見込みです。

国では、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」において、病床確保料を新設したところであり、当院でも、減収を補填するためこの交付金を活用いたします。

今後も、新型コロナウイルス感染症への対応と、高度急性期病院及び地域医療支援病院としての役割との両立を図ってまいります。